



島根県立大学 松江キャンパス発

地域研究と 教育

vol.
9



 島根県立大学
島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

しまね地域共生センター
Shimane Center for Enrichment through Community, The University of Shimane Junior College

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

TEL 0852-26-5525

FAX 0852-21-8150

<https://matsuec.u-shimane.ac.jp>

R3年3月版

「地域研究と教育 Vol.9」

はじめに

まずは、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、および関係の皆様にお見舞いを申し上げます。また、医療関係の方々をはじめ、感染拡大防止にご尽力くださっている皆様方には、心より御礼を申し上げます。

令和2年度は、島根県立大学松江キャンパスにおきましても、新型コロナウイルス感染症の対応に追われる1年でした。本学では、4月よりオンライン授業を開始し、学園祭をはじめとする諸行事を中止とするなど、学生たちに不慣れな生活に耐えてもらい、我々教職員も、かつて経験したことのない対応を余儀無くされました。地域の皆様にも、例年実施している公開講座「椿の道アカデミー」の中止をはじめ、様々な地域連携活動を自粛せざるを得ず、大変心苦しく思っております。

このような状況の中、地域の皆様から励ましのお声を、さらには、アルバイト収入が減り、生活が苦しくなった本学学生にと、お米、野菜、マスクなどの物資をたくさんご寄贈いただきました。この場をお借りし、改めて心から感謝申し上げます。

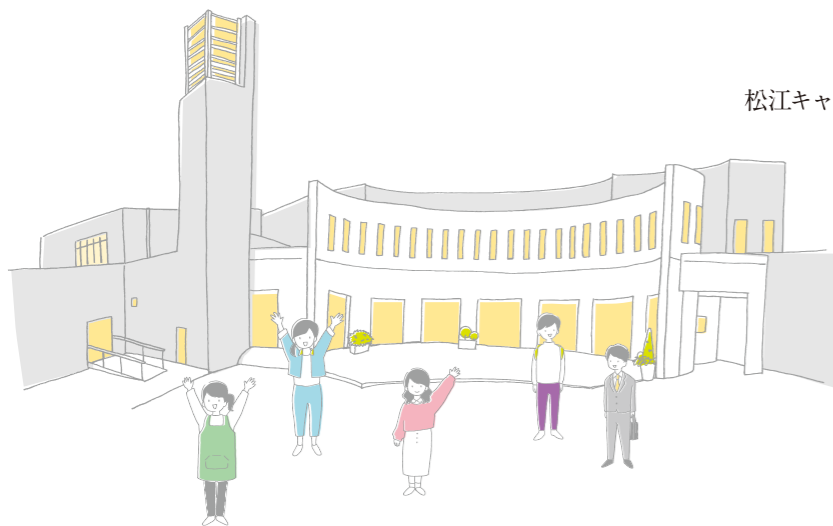
コロナ禍で、地域連携事業の自粛期間中ではありますが、このたび、島根県立大学松江キャンパスでは、「地域研究と教育vol.9」を発行するはこびとなりました。この「地域研究と教育」は、平成24年度に創刊され、本学教員による地域に特化した研究、ならびに、地域と連携した各学科の特徴的な教育活動を中心に紹介しております。

感染拡大の収束の見通しが見えない中ではございますが、これからも、感染リスクを抑えながら、島根県の公立大学として、地域の将来を担う人材の育成、研究を重ねてまいります。

地域の皆様には、どうぞ更なるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和3年3月

松江キャンパス地域連携推進委員長 工藤泰子



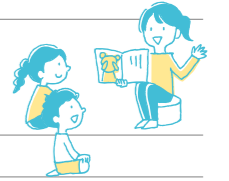
CONTENTS

人間文化学部



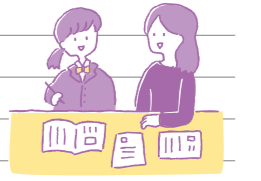
保育教育学科

2	教育連携の拡充
2	しまねの文化を学ぶ 全学共通「しまね文化論」
3	しまね地域マイスター制度(人間文化学部)
3	コロナ禍における地域の皆様からの学生支援
4	ほいくまつり <全人的な保育・教育者の養成を目指して>
4	分身ロボットで揖夜神社を参拝プロジェクト <島根県立大学生×県内企業×NPOのコラボレーション>
5	雅楽鑑賞会 <雅楽を知る・見る・聴く-本物の体験から学ぶ->
5	親子で音楽を感じて!「おんがくとあそぼう」 <“新しい音楽活動”の在り方>
6	小学校での「図面工作」特別授業 <文化庁派遣事業>
6	障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究 <島根県障がい者アート作品展を通して>
7	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携 <島根県との連携事業>
7	里親支援に向けた取り組み <島根県との連携事業>



地域文化学科

8	地域を知り考えるための教育 <地域文化論II(出雲)>
8	地域を知り考えるための教育 <Kid's English>
9	地域を知り考えるための教育 <しまね図書館学>
9	地域を知り考えるための教育 <観光まちづくり演習>
10	地域を見つめる多様な研究 <出雲の神話・伝承についての研究>
10	地域を見つめる多様な研究 <石見地方にある伝統的建造物群保存地区の瓦屋根研究>
11	地域を見つめる多様な研究 <海士町における民具の保存と利活用に関する研究>
11	地域の学校から学ぶ教職課程



短期大学部



保育学科

12	キッズランド・キッズシアター2020 <学生の主体的な学びを目指して>
13	卒業研究より「のぎっこ いきいき あそびマップ」の作成・活用 運動遊びリーフレット「わくわく ふくらむ あそびパーク」の作成・活用 <地域に貢献する保育者をめざす、地域課題解決のための取組>



総合文化学科

14	フィールドワークへのいざない <総合文化研修計画I>
14	フィールドワークへのいざない <総合文化研修II>
15	島根の魅力を英語で発信 <文化とガイド>
15	地域の文化を取材して紹介 <文化情報誌制作>
16	教育課程のための地域との連携 <実習実施施設・機関との連携>
17	教育課程のための地域との連携 <授業における連携(ゲストスピーカー、非常勤講師、見学先等)>
19	地域志向研究活動一覧(H28~R2)
22	地域連携(貢献)活動の取組状況



教育連携の拡充

令和2年度、松江キャンパスでは県内高校との教育連携に特に力を入れてきました。出雲高校、平田高校、大社高校、横田高校、松江南高校、松江市立女子高校、大多和学園開星高校からの依頼を受け、本学教員は高校生に対し、講義や課題研究の指導・助言を行いました。特に大社高校の生徒の課題研究中間発表においては、本学学生からも助言をすることで、お互いに良い学びになりました。

また、令和2年11月17日には本学学生図書委員会の企画で松江商業高校の生徒と「図書を紹介した交流」として、書名しりとりゲームやお互いの好きな本の紹介、本学図書館とおはなしレストランライブラリーの案内などで楽しい時間を過ごしました。

近隣の小学校、幼稚園、幼保園における本学学生による絵本の読み聞かせ、イベントの手伝い等は、令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、あまり実施できませんでしたが、今後も引き続き、多彩な形で地域の教育機関と連携交流をはかっていきます。

しまねの文化を学ぶ

全学共通「しまね文化論」

松江キャンパスでは、平成30年度より、1年生を対象とした「しまね文化論」を開講し、島根県の特徴ある文化について、各回のテーマに相応しい専門家をお招きし、ご講義いただいています。令和2年度は、講師の先生方にオンラインで授業を実施していただきました。

◎ 外部講師一覧

神々の国しまね(1)(出雲大社)	千家和比古氏(出雲大社権宮司)
神々の国しまね(2)(神話)	錦田剛志氏(万九千神社宮司)
しまねの日本遺産(たたら製鉄)	井上裕司氏(株式会社田部たたら事業部次長)
しまねの世界遺産(石見銀山遺跡とその文化的景観①大森編)	仲野義文氏(石見銀山資料館館長)
しまねの世界遺産(石見銀山遺跡とその文化的景観①温泉津編)	仲野義文氏(石見銀山資料館館長)
しまねの自然	中村唯史氏(島根県立三瓶自然館)
しまねの地質遺産(隠岐世界ジオパーク)	野辺一寛氏(隠岐コネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局長)
しまねの国宝(松江城)	ト部吉博氏(元松江市松江城調査研究室長)
しまねの食文化(1)松江の茶文化	中村寿男氏(中村茶舗代表取締役)
しまねの食文化(2)次世代への継承	景山直観氏(合資会社一文字家社長)
しまねの伝統芸能(神楽)	藤原宏夫氏(島根県立古代出雲歴史博物館)
しまねの文化を残し、伝える一発掘調査から展示まで	赤澤秀則氏(鹿島歴史民俗資料館館長)
しまねの文化の継承・活用	高木朋美氏(一般社団法人鉄の歴史村地域文化研究所理事)

しまね地域マイスター制度(人間文化学部)

島根県立大学では、地域の諸課題を自主的に探究し、地域課題に関する卒業研究を完成させた学生に対して、本学独自の称号「しまね地域マイスター」を授与します。松江キャンパス人間文化学部では、平成30年度の学部設立と同時に本制度を開始しました。令和3年度入学までの学生を対象に、要件をすべて満たして優秀な成績を修めた者と認めた場合には、マイスター称号を卒業時に授与します。本制度は登録制で、すでに多くの学生がマイスター取得を目指して学業に励んでいます。

コロナ禍における地域の皆様からの学生支援

令和2年度4月以降、島根県立大学松江キャンパスでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学生の安全のため授業開始日を延期し、さらに対面での授業を縮小し遠隔を中心とした授業を行ってきました。課外活動やアルバイト等も自粛、制限をしたため、家計の急変や心身の健康面などが懸念されました。そのような中、地域の企業、住民の方々、卒業生、保護者の皆様など多くの方々から学生へのはげましのメッセージや寄付金、支援物資をいただきました。頂戴しましたご寄付は、学生のため有効活用させていただいております。この度のお心遣い、島根県立大学松江キャンパス一同、心より感謝申し上げます。

また、例年実施している公開講座「椿の道アカデミー」ならびに客員教授による講演について、令和2年度は中止せざるを得ない状況となりました。毎年楽しみに受講してくださっている皆様には大変申し訳ございませんでした。





ほいくまつり

- 全人的な保育・教育者の養成を目指して -



保育教育学科では、島根県民会館大ホールに1,500人の子どもたちとその保護者を招待して「ほいくまつり」を開催しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。「ほいくまつり」の取り組みは本学独自の1・2年生必修科目「表現研究」の一環として行われます。1・2年生全員が舞台系、裏方系など10のパートに分かれて取り組みますが、週に2回の授業時間だけでなく、ほぼ毎日、放課後残って自主的・自治的活動を行うことになります。

学内で何度も繰り返すリハーサルでは、全員で意見を交換し、子どものための表現活動について考えます。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭など、将来子どもにかかわる者にとって必要な子ども理解を深めていくのです。その過程の中で、入学まで一人ひとりが培ってきた力を発揮できるとともに、協力することの大切さを学び、感性を磨いていくことができます。

本番当日、子どもたちの笑顔に出会うことは最高の感動ではありますが、同時に取り組み過程そのものを経験することで将来保育・教育に携わる者に求められる力と自信と夢を獲得してもらいたいと思います。なお、島根県民会館での開催にあたり、会場設営や当日の進行は、公益財団法人しまね文化振興財団との連携で行われています。(写真は2019年開催時)



分身ロボットで揖夜神社を参拝プロジェクト

島根県立大学生×県内企業×NPOのコラボレーション

保育教育学科准教授 西村 健一

本学の藤村さんが、最先端のアバターロボットを活用して東出雲の揖夜神社を参拝した。藤村さんは車いすユーザーであり、段差や砂利道などが多い神社の参拝は難しい。そこで、県立大学・揖夜神社・NTTドコモ中国支社島根支店・NPO法人東出雲まちなちの駅女寅・長岡塗装店が協力して、最先端のアバターロボット「newme」を活用することで、藤村さんが室内より神社を参拝するプロジェクトに取り組んだ。当日は、本学で特別支援教育を学ぶ原田さんと持田さんも参加して、最先端のテクノロジーを体感するとともに、県内企業等の協働を体験した。藤村さんは1時間ほど揖夜神社を参拝し、宮司の井上様より揖夜神社の歴史や今後について直接お話を聞いた。藤村さんは「パンフレットなどにも載っていない情報を教えてもらった」と喜んでいました。



遠隔地から参拝



2020年11月24日付山陰中央新報朝刊



拝殿で宮司様から解説

雅楽鑑賞会 雅楽を知る・見る・聴く—本物の体験から学ぶ



保育教育学科准教授 梶間 奈保

本学科では、小学校の音楽科教育について学ぶ「初等音楽科教育法」を3年次に実施しています。小学校教育における音楽科は主要科目に比べ時間数は少ないですが、私達の身の回りにはあふれている音や音楽について学びや探究心の芽を育むのが音楽科教育の役目です。これは決して、音楽の技術や表現の向上を目指す活動が中心ではなく、音楽を通して文化を知ることや人と音楽の在り方を感じ取っていくことも、音楽科の大事な学びとなります。このようなことから「初等音楽科教育法」の授業の一環として、出雲を中心に活躍されている「こころ音」雅楽会の方々の雅楽鑑賞会を実施しました。

当日は総勢12名の方々が装束衣装を身にまとい、荘厳に響き渡る演奏と優雅な舞を本学の体育館で披露してくださいました。参加した学生達は笙(しょう)や箏(ひちりき)などの楽器を演奏体験することができ、音を出すことの難しさを実際に感じた上で、演奏者の素晴らしさや音の魅力を感じていました。また、日本の伝統文化と称される雅楽のルーツや楽器の仕組みなど、雅楽会の方の非常に分かりやすい解説で1つ1つの音楽を味わって聴くことができ、雅楽の音色で包まれた空間に参加者全員で共有する貴重な時間となりました。この鑑賞会を通して、小学校の音楽科教育へとつなげて考えていくことが学生達の学びです。学生達は雅楽そのものが馴染みのない音楽だったと思いますが、鑑賞会後のレポートでは「実際に雅楽を聴き、雅楽を演奏する方の息遣いや動きの美しさ、音色や雅楽ならではの品や美しさを感じる事ができた」という自身の音楽に対する視点を持つことができたように思います。そしてそれが子ども達にも実際に雅楽を聴いてもらいたいという教育者の想いへとつながっていきます。

音楽科教育の中で扱う音楽は多岐にわたり、学生達は実際に聴いたことがない楽曲も多いと思います。ですが、教師として教科書の内容を伝える前に、その音楽を通して自分自身がどのような思いを抱くのか、その音楽の何に興味をひかれるのかという大事な視点を抱ききっかけになったのではないのでしょうか。コロナ禍の中、鑑賞会の実施に協力して下さった「こころ音」雅楽会の方々に感謝申し上げます。



親子で音楽を感じて!「おんがくとあそぼう」—新しい音楽活動”の在り方—

保育教育学科准教授 梶間 奈保

今回、松江市立川津幼稚園の親子参加行事でコンサートを実施させていただきました。普段の園生活では子ども達だけで音楽活動が成立する難しさもありますが、お家の方と「いっしょにできた」と感じる時間が音楽表現を育む一助となります。コンサートで子ども達は、皆の前でする指揮や楽器演奏を緊張しながらも自分で身体を動かして音楽を表現したり、見ている子ども達も自然と身体を揺らしたり、音にじっと耳を澄ませている姿がありました。歌うことや他者とふれあって遊ぶことが安易にできない今、こういった行為を遮断して表現を閉ざしてしまうのではなく、今まで見えてこなかった子どもの音楽に対する捉えを教育者として引き出すことの重要性や音楽活動の在り方を模索することに気付くコンサートでした。そして、この非日常体験のようなコンサートが一つのイベントとして終わるのではなく、日常の中で子どもの音楽表現へつなげることが大事です。そこには、園の先生方の子どもの表現の受け止めや遊びを展開していく環境づくりが欠かせません。川津幼稚園では、嬉しいことに指揮者ごっこやコンサートごっこをする子ども達が見られ、色々な音楽遊びへと発展しているとの話をお聞きました。園の先生方の子どもの表現に対するあたたかな支援と子どもの音楽表現に対する探究の姿勢が、子ども達の遊びを支えています。その遊びの深まりが、音楽の面白さの興味発見へとつながり、小学校の音楽科教育の学びへと続いていく...こんな時代だからこそ、子どもと音楽との関わりを時間をかけて育てていきたいと思っています。

今年度、音楽を含めた表現活動の分野は新型コロナウイルスの影響で今まで予想しなかった問題に直面し、友達や先生と歌い楽しむ日常が難しい日々となりました。教育現場の音楽活動では、子ども達が相手と声や身体の動きを合わせることを楽しんだり、自分で感じたままに表現する喜びやその表現を他者に認めてもらうことを、遊びや教科の学びの中で積み重ねていきます。コロナ禍であっても、音楽と子どもとの関わりで大事なものは変わりありません。新しい生活様式をきっかけに、改めて音楽の魅力を再発見し、音楽表現の可能性を感じることができる機会を目指すことが保育者、教育者の養成校では求められていると思っています。



*マウスシールドを付けています。





小学校での「図画工作」特別授業

文化庁派遣事業



保育教育学科准教授 福井 一尊

2016年度から、文化庁『芸術家学校派遣事業』によって福井一尊准教授(美術教育学研究室)が小学校等に図画工作科の特別講師として派遣されています。美術家としての一面をもつ福井准教授が小学校や美術館において「造形あそび」の授業を実施します。視覚、聴覚、身体感覚を存分に使った制作活動を通して、初等学校教育における「造形あそび」の意義や学習効果を示しました。色や形、光の美しさに気づける楽しい活動となり、現場教員を含めた参加者全員で、学びの実感を共有しています。



また、小学生が制作した作品を公立美術館に展示し、多くの来館者に楽しんでいただきました。アシスタントとして参加した保育・教育職を目指す学生にとっては、造形活動によって保育・教育を推進することの優位性について学ぶ機会となっています。保育・教育に対する自信と責任、そして夢に出会う活動です。



障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究

島根県障がい者アート作品展を通して



保育教育学科准教授 福井 一尊

「島根県障がい者アート作品展」(主催：島根県)の公開審査において、保育教育学科 福井一尊准教授が審査委員長として協力しています。県内全域から作品が寄せられる本審査会は関係施設職員の研修の場としても位置づけられており、多くの参加者との意見交換を交えながら進められます。作品は島根県立美術館にて公開され、毎年多くの来場者に楽しんでもらっています。



この取り組みは、県内における障がい者理解の拡充を目的としていますが、アートとしての訴求力を適正に評価し、公表することで作者の自立支援につなげるという大きな目標もあります。そのため2014年には、全国に先駆けて「障がい者アートを活用した商取引に係るガイドライン」を、福井准教授が委員長となり整備しました。

そして、2018年には、これまでの本取り組みをまとめ、障がい者アートの魅力を紹介する書籍「しまねの障がい者アート」(福井准教授 編著)を出版し、福祉施設、学校等において広く活用してもらっています。

近年の展覧会では、福井准教授が制作した、触って楽しむ作品を展示しています。本展が障がい者の発表の場だけでなく、鑑賞の場として楽しんでいただけるよう、新たな取り組みを行っています。



安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携

島根県との連携事業



保育教育学科准教授 藤原 映久

児童養護施設では保護者の不在や児童虐待などを理由に家庭での生活が困難な子どもたちが集団で生活しています。多くの子どもたちは住み慣れた地域や友達から離れ、施設での新生活を始めます。そこに大きな不安が伴うことは容易に想像できます。施設職員はそんな子どもたちに寄り添い、愛情を注ぎ、子どもたちの育ちと生活を支えます。その時、最も求められるのが安心・安全な生活環境です。入所前の生活環境が不安定だったからこそ、最も大切なのです。そこで、県内の児童相談所と連携しながら、児童養護施設安来学園及び聖煌寮で施設内職員研修を開催し、子どもたちが安心・安全に暮らすことができる生活環境のあり方について議論し、日々の実践に繋げています。



例年は月1回の研修ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、開催数が限られてしまいました。まだまだ、厳しい状況が続きますが、今後もこの連携を継続していきたいとの思いです。



里親支援に向けた取り組み

島根県との連携事業



保育教育学科准教授 藤原 映久

現在、日本では、親がいなかったり児童虐待などを理由として、約4万5000人の子どもたちが乳児院や児童養護施設、里親宅などで生活しています。これまで、このような子どもたちは施設に入所することが多かったのですが、国は今後の方向性として、家庭と同様の養育環境で生活できるようにすることを目指しています。そこで、注目されているのが里親制度ですが、多様な背景をもった子どもたちの最善の利益を目指すには、里親家庭だけでは困難が伴うこともあります。そこで、島根県中央児童相談所と連携しながら、里親家庭が安心して子どもを迎え入れ、子どもを養育できるように里親支援研修会を開催しています。昨年度、一昨年度は学生の企画による交流会も行いました。

残念なことですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で研修会の開催も交流会も全てを中止しました。来年度も厳しい状況が続きそうですが、何らかの形で学生と一緒に里親支援を行いたいと考えています。



令和元年度の取組み

地域を知り考えるための教育

地域文化論II(出雲)

地域文化学科教授 工藤 泰子/准教授 杉 岳志/准教授 山村 桃子/総合文化学科准教授 キッド ダスティン

異文化理解、神話、歴史、観光を専門とする教員4名が、島根県の文化を「出雲」という視点で講義を行う科目です。神在月や出雲神話、神楽などを学んだ後、佐太神社・鹿島歴史民俗資料館への見学を実施しました(令和元年度まで)。また神在祭が行われる万九千神社の錦田剛志宮司の講演により、神道文化が島根に根づき、脈々と継承されていると感じ取りました。さらに松江城、松平不昧を学習して松江城フィールドワークを行い、近現代に観光資源として活用される在りようについても学びます。出雲文化について英語で表現を試みることも、この授業のユニークな点です。「出雲」文化を時代にわたって学び、国際化時代にあってどのように魅力を発信するか、学生に考えるきっかけを与える授業になればと思います。



平成30年度に実施したフィールドワーク

Kid's English

地域文化学科准教授 ラング クリス



地域文化学科2年生の科目「Kid's English」は、本学の絵本専門図書室「おはなしレストランライブラリー」等で、地域の子どもたちを対象に英語絵本の読み聞かせ・歌・アクティビティなどを発表するために準備と練習を行い、やさしい英語を使って子どもの興味を惹きつけながら交流する力を身に付ける科目です。

おはなしレストランライブラリーでは、日曜日の活動のほか、大学祭やクリスマスに合わせた特別イベントを開催し、たくさんのお子さんに来ていただきました。「はらぺこあおむし」で有名なエリック・カールの絵本の読み聞かせをしたり、アクティビティでは紙のトマト・レタス・ハムなど好きな具をばさんでサンドイッチを作ってもらったりと、お子さんたちには大変喜んでもらえました。また、令和元年度は、10月から11月にかけて、松江市立乃木小学校で1年生から6年生まで各クラスで朝の読み聞かせを行いました。

今後も、地域の皆様に喜んでいただけるような教育研究活動を進めていきたいと考えています。



令和元年度の取組み

しまね図書館学



地域文化学科准教授 木内 公一郎/助教 小南 理恵

本科目では、地域の課題を解決または解決を支援する図書館サービスについて、本学が所在する松江市を想定した地域サービスの企画立案に取り組んでいます。地域課題の発見には、まずその地域の現状を知らなければなりません。授業では、松江市が策定する総合計画や議会資料などの地方行政資料や地方統計資料の検索方法、先行事例の調べ方などの基本的な探索スキルを学びます。その上で、一人ひとりの関心のある課題をもとにグループを編成します。令和元年度は「廃校を利用した図書館サービス」「ヒューマンライブラリー」「イクカンプロジェクト」「ゲームを活用した図書館サービス」などの研究成果を発表することができました。令和2年度は40名が9グループに分かれ、プロジェクトに取り組んでいます。それぞれのグループは積極的に見学や調査を実施しており、2名の教員がグループの自主性を尊重しつつ支援しています。

今後の予定としては最終報告会を行い、企画内容を学生同士で評価、検討していきます。

本年度の授業は、感染症対策として遠隔授業形式(Microsoft Teams)で実施されています。対面式授業に比較すると不便なように思われるかもしれませんが、学生、教員ともにTeamsの機能をフルに活用しており、プロジェクトの進行に支障はありません。学生たちの研究成果にご期待ください。



令和元年度授業の様子

観光まちづくり演習

地域文化学科講師 竹田 茉耶



「観光まちづくり演習」は、地域に固有の景観や歴史、生業や生活文化を活かした観光まちづくりの取り組みを実践的に学び、地域資源の活用、生活と観光が共存・融合した持続可能な地域づくりの仕組みや手法について理解を深めることを目的とした科目です。

今年度は地域文化学科の2年生17名が履修し、令和元年度に続き、出雲市平田町にある木綿街道をフィールドに調査研究を行いました。

学生たちは「平田船川の活用における課題と展開可能性」「木綿街道らしさが伝わる情報発信」「木綿街道の人を知る(住民同士の交流を促すしくみ)」の3つのテーマに分かれて資料調査やヒアリングを行いました。

ヒアリングの内容はリーフレットにまとめ、木綿街道に住んでおられる住民の方約130世帯へ配布しました。2月には木綿街道交流館において成果報告会を開催しました。コロナ禍の状況を鑑みて入退場自由形式のポスター発表としましたが、当日は地域の住民の皆さんのほか観光で木綿街道を訪れたついでに立ち寄ってくださった方々など30名近くの方々が会場を訪れてくださり、木綿街道の観光まちづくりのこれからについて活発な意見交換が行われました。



地域を見つめる多様な研究

出雲の神話・伝承についての研究

地域文化学科准教授 山村 桃子

島根県東部・旧出雲国は、出雲神話の舞台として有名です。イザナミが葬られたという比婆山、イザナキが黄泉国から往還する際に通った黄泉比良坂、スサノオが降り立った斐伊川の上流・鳥上山、オオクニヌシが鎮まったとされる大社など、多くの地点が県内にあり、その場所にも複数の説があります。

出雲神話は、『古事記』の中でも研究史が厚い分野であり、根の国はどこにあるのか、黄泉比良坂とはどのような坂なのか、などの議論も一時期は盛んになりました。私自身は現在、天皇神話とされる『古事記』において、「出雲神話」はどのような意味をもつのか、ということを考えています。

また、県内には古代の神話に基づいた地域伝承があちこちに息づいています。とりわけ斐伊川流域にはヤマタノオロチにまつわる伝承が多く、地域の歴史とともに変容した姿がうかがえます。そうした伝承の存在は、私も島根県に来て初めて知ったことでした。実際にその地に足を運んでみないとわからないことは多くあります。書かれた神話と、それらを受け止めて地域において育まれた伝承の双方に目を向けて、今後も研究と教育をすすめていきたいと思えます。



石見地方にある伝統的建造物群保存地区の瓦屋根研究

地域文化学科准教授 藤居 由香

住居学の一分野である地域居住学の科目「日本文化論Ⅰ(居住文化)」「地域文化論Ⅳ(地域資源)」「しまねのまちづくり」で扱う共通テーマが「瓦屋根」です。屋根面が平ら(陸屋根)では瓦は葺けず、斜め(勾配屋根)の建築構造にしなければ瓦屋根にはできません。瓦の考古学的研究は多数ありますが、屋根景観全体として捉えた都市計画の研究は少なく、地域特性の維持保全に寄与できる瓦の選択基準を検討する新機軸を目指しています。

瓦の景観色彩に絞ると、都野津層の土に釉薬(来待石の粉+水)をかけて焼成する石見地方産の「石州瓦」は「赤瓦」が有名ですが、先般焼失した首里城の赤瓦は赤土を焼成し発現する色で製造方法が異なります。また、「石州瓦」には「黒瓦」もあり、出雲地方産の黒瓦とは根本的な違いがみられます(詳しくは授業で紹介)。さらに近年は、「茶色」の石州瓦が売れ始めています。

文化財建造物の保護と、居住者の住宅維持の観点から歴史的町並み景観を保全する文化庁選定の重要伝統的建造物群保存地区は、島根県では津和野・大森銀山・温泉津の3ヶ所にあります。津和野町では、赤系統の複数色の石州瓦による「混ぜ葺き」が特徴です(写真参照:藩校養老館)。赤瓦が使われている伝建地区は山口県・鳥取県・石川県などに限られ、石見発の赤瓦文化伝播の可能性が広がります。



海士町における民具の保存と利活用に関する研究

地域文化学科講師 中野 洋平

松江キャンパス民俗学研究室では、島根県立大学しまね地域研究センタープロジェクト研究の一環として、「海士町における民具の保存と利活用に関する研究」を進めています。「民具」とは、生活や生業で使用するため、自分たちで造ったり、購入したものを改造したりした道具類です。例えば鍬や鋤などの農具、作業着や行灯といった生活用具などです。

これら民具は、私たちの生活や生業の特徴、変遷を理解するための資料として、これまで博物館などで積極的に収集されてきました。しかし近年、予算や人手の不足から、収集した民具を整理したり、有効に活用したりすることが困難となり、倉庫の奥で大量に「死蔵」されていることが全国的な問題となっています。

島根県海士町も例外ではありません。同町南端にある崎地区では、これまで住民有志により多くの民具が収集されましたが、その整理や今後の活用が課題となっています。そこで私たちは、海士町教育委員と協働で崎地区収集民具の整理調査を進めています。令和元年度では、地域文化学科2年生の5名とチームを組み、夏休みを利用して5日間の民具整理合宿を行いました。対象となる民具は約400点で2年間かけて整理調査し、最後に崎地区の皆さんへ向け成果報告を行う予定です。



地域の学校から学ぶ教職課程

地域文化学科准教授 古賀 洋一

現在、地域文化学科では2・3年生あわせて20名の学生が、教員免許取得に向けた学びを進めています。教師としての実力をつけるうえでは、大学での学びだけでは限界があります。理論だけでは掴めない生徒の実態や教師の学びのデザインについては、学校現場からの学びが欠かせません。そのために、今年度は新たに2つの取り組みをはじめました。

一つ目は、湖南中学校の放課後学習会へのボランティア参加です。2・3年生はもちろん、1年生も参加しています。最初は遠巻きに生徒を眺めていた学生も、回数を経るごとに生徒との関わり方を掴んでいきます。目線や声のトーン、身体の向かい合わせ方など、ややもすると見逃してしまう部分ですが、コミュニケーションを左右する重要な要素です。こうした、生徒との生の関わりを経なければ分からないことを学んでいます。

二つ目は、開星中学・高等学校での授業観察実習です。ここでは、もちろん生徒の学びの過程や実態、可能性についても学んでいくのですが、それと同時に関心が集まるのは、目の前の生徒に合わせて、教師がどのように授業をデザインしているのか、どのような判断のもとに一つ一つの行為を行い、授業を展開しているのかという「実践の中の理論」です。教師の何気ない行為に注目し、素朴に問いを出していく学生の姿が印象的でした。

コロナ禍にも関わらず、学生の参与をお認めくださった関係の先生方に改めて感謝いたします。学生が教師への夢を叶えられるよう、地域の学校との連携を維持・拡充し、さらに学びの場を充実させていきたいと考えています。



キッズランド・キッズシアター2020

学生の主体的な学びを目指して



保育学科教授 梶谷 朱美 / 講師 渡邊 寛智 / 講師 小林 美沙子

保育学科では、平成30年度より「保育内容演習I・II」の授業（通年）が新設されました。この授業では、地域の乳幼児を対象とした「キッズランド」「キッズシアター」の2つの取り組みを行っています。この授業では、“子どもたちのために創る”を大切に、子ども主体の保育のあり方を実践する中で学びます。また、学生が主体的に活動を進めて行く中で、保育内容を創り出す喜びを感じ、主体的に学ぶ姿勢を育てることを大切にしています。この主体的に学ぶ姿勢は、本学を卒業後、保育者として保育実践を進めて行く際に必要となる実践的指導力を高めるための素地となる大切な力です。

本年度は、新設の短期大学部3期生である41名の1年生が活動を行いました。残念ながらCOVID-19の影響により、活動内容の変更や制限など様々な困難もありました。このような中でも学生たちは、将来の保育者を目指し、先輩たちのアドバイスを基に子どもの姿を想像しながら活動を進めてきました。キッズシアターの開催は、無観客ではありましたが、学生一人ひとりが子どもの笑顔を思い浮かべ、将来の保育者への道をいっばい歩み始める活動となったのではないのでしょうか。



キッズシアター(12月22日開催)

卒業研究より「のぎっこ いきいき あそびマップ」の作成・活用 運動遊びリーフレット「わくわく ふくらむ あそびパーク」の作成・活用

地域に貢献する保育者をめざす、地域課題解決のための取組

保育学科教授 梶谷 朱美

梶谷ゼミでは、保育学科の2年生が次のような取組を卒業研究で行いました。

まず、令和2年1月、転勤族の多い乃木地区で外遊びが楽しめる場所を地域の皆さんに知ってもらおうと公園や広場をまとめた「のぎっこ いきいき あそびマップ」を作成し幼保園や小学校、乃木公民館などへ配布しました。4月以降、幼保園のぎではこのマップを活用され園外での保育が増えたそうです。園内に掲示されたマップには、活動の記録が写真の掲示とともに書き込まれ、外遊びの様子が生き生きと紹介されています。また、親子遠足でも保護者の方がこのマップを活用され、身近な公園でたっぷり遊び、充実した時間をもたれたそうです。

一方、今年度はコロナ禍で家庭の中で過ごす時間が増えました。そこで、学生は、幼保園のぎの保護者を対象に運動遊びの状況を調査し、その結果をもとに家庭でできる運動遊びを紹介するリーフレット「わくわくふくらむあそびパーク」を製作しました。親子の触れ合いを深め、子どもの情操を育てる「わらべ歌」を伴う簡単な遊びや家にあるタオルや布団を活用した遊び、昔から伝わる伝承遊びなど「だれでも」「どこでも」「だれとでも」できるような運動遊びを提案しています。多数の写真の他、QRコードから動画が見られるように工夫し保護者の皆さんに大変喜ばれています。

今後も、保育学科では、地域に貢献できる保育者の育成をめざすとともに「乳幼児の心身の発達を促す運動遊び」の啓発を多角的に行っていこうと思います。



2019年12月25日付 山陰中央新報



フィールドワークへのいざない

総合文化研修計画I



総合文化学科教員

例年は、1年生の夏季休暇中に大田市大森町で実施する2泊3日のフィールドワークに向け、フィールドワークや文化資源に関する基礎知識と、石見銀山および大森町に関する予備的な知識を身につける「総合文化研修計画I」ですが、今年は松江市をフィールドとし、“松江の地域と祭”というテーマのもと、問いを立て、その問いに対する仮説と検証方法を考えました。



総合文化研修I

総合文化学科教員

「総合文化研修計画I」で作成した実施計画案に基づき、グループに分かれて、聞き取りを行ったり、調査したりしながら、仮説を検証していきます。実際に検証していく過程で、人とのコミュニケーションの難しさを実感したり、仮説や検証方法の甘さ・未熟さに気づいたりします。このような体験が今後の学びの刺激につながります。

本研修を通して、学生たちはフィールドワークの楽しさや難しさを体感します。また、実際に様々な体験をすることを通して、地域の社会や文化に対する興味・関心を高めていきます。



島根の魅力英語で発信

文化とガイド

総合文化学科准教授 キッド ダスティン

松江を中心に、山陰両県の観光スポットを英語で効果的に説明できるようになることを目標とし、そのために必要な語彙や情報を学びながら、山陰の文化や歴史の知識を深めます。また、ガイド実践などを通して、実際のガイドに役立つレベルのコミュニケーション能力と英語の語彙・表現力を向上させます。



地域の文化を取材して紹介

文化情報誌制作



総合文化学科教授 山根 繁樹 / 非常勤講師 小倉 佳代子

総合文化プロジェクト科目群に属する「文化情報誌制作」では、特集ワードを決め、山陰地方の小さな文化を探して取材し、小冊子『ひだまりのおと』の制作を行います。

学生が記事として紹介したいことをアイデアとして出し、企画を練ります。企画が通れば、取材対象にアポイントを取り、取材をして記事を書き、写真と共にレイアウトします。レイアウト作業では、「文化情報表現法」で培ったスキルを活かします。

地域で活動されているさまざまな人のかかわりを通して、地域の文化に携わる方々の思いを感じる授業です。



教育課程のための地域との連携

令和2年度 実習実施施設・機関

保育教育学科

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	松江市	松江市立城東保育所、松江市立城西幼保園、松江市立白濁保育所、しらとり保育所、松江ナザレン保育園、松江認定こども園、ふたば第一こども園、ふたば第二こども園、ふたば第三こども園、ふたば古志原こども園、みどり保育所、袖師保育所、虹の子保育園、なの花保育園、なかよし保育園、あおぞら保育園、こばと保育園、わかたけ保育園、本庄保育所	1年秋学期・保育実習I(保育所)
	出雲市	みなみ保育所、ひらた西保育園、出雲サンサン保育園、こぐま保育園、おおつか保育園、たちばな保育園、ほくよう保育園	
	雲南市	雲南市立大東保育園、雲南市立三刀屋保育所	
	奥出雲町	布勢保育所	
	安来市	安来市立認定こども園荒島、安来市立安来保育所、安来市立切川保育所	
	※新型コロナウイルスの影響から実習を中止し、その代替として学内演習を行う。その中で以下の施設から職員の方を招き講演を開催する。		
児童福祉施設等	松江市	松江赤十字乳児院、島根東光学園、松江学園、国立病院機構松江医療センター、児童発達支援センターやましろ、島根県立わかたけ学園、しのめ寮	2年春学期・保育実習I(施設)
	出雲市	児童心理療育センターみらい	
	安来市	安来学園、櫻苑	
幼稚園	松江市	松江市立幼保園のぎ、松江市立古志原幼稚園、松江市立城西幼保園、松江市立中央幼稚園、松江市立城北幼稚園、松江市立津田幼稚園、松江市立母衣幼稚園、松江市立やくも幼稚園、松江市立揖屋幼稚園、松江市立しんじ幼稚園、育英幼稚園	3年春学期・秋学期・教育実習
	安来市	安来市立安来幼稚園、安来市立島田こども園、安来市立認定こども園荒島	
	出雲市	出雲市立平田幼稚園、認定こども園光幼保園、出雲市立中部幼稚園、出雲市立塩冶幼稚園、出雲市立大津幼稚園、出雲市立鷲巣幼稚園、出雲市立四絡幼稚園	
	雲南市	雲南市立大東こども園	
	倉吉市	聖テレジアこども園	
	鳥取市	鳥取市立河原幼稚園、認定こども園鳥取第四幼稚園	
保育所	松江市	なの花保育園、なの花保育園のぎ、乃木保育所、あおぞら保育園、松江認定こども園、みどり保育所、こばと保育園	3年春学期・保育実習II(保育所)
	出雲市	平田保育所、荘原保育園、出東こども園、おおつ保育園、ひまわり第2保育園、おおつか保育園、みなみ保育所	
	雲南市	雲南市立かもめ保育園	
	安来市	安来市立認定こども園飯梨、安来市立安来保育所、安来市立切川保育所	
	広島県石高町	神石高原町立とよまつ保育所	
	兵庫県豊岡市	蓼川保育園	
	兵庫県神戸市	西鈴蘭台頒栄保育園	
	大分県佐伯市	佐伯市立つるおか保育所	
	長崎県長崎市	幼保連携型認定こども園大浦保育園	

保育学科

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	松江市	松江市立城東保育所、松江市立揖屋保育所、松江市立マリン保育所、松江市立白濁保育所、みずうみ保育園、法吉保育所、認定こども園比津が丘保育園、嵩見保育所、わかたけ保育園、ふたば第一こども園、ふたば第二こども園、ふたば第三こども園、こばと保育園、ふたば古志原こども園、なの花保育園、なの花保育園のぎ、松江認定こども園、虹の子保育園、まつお保育園、袖師保育所、みどり保育所、なかよし保育園、しらゆり保育園	1年春学期・保育実習IA(保育所) 2年秋学期・保育実習II(保育所)
	安来市	安来市立切川保育所、安来市立安来保育所、あゆみ保育園	
	出雲市	ひらた西保育園、西園保育園、みなみ保育所、出東こども園、なかの保育園、ハマナス保育園	
	雲南市	雲南市立認定こども園掛合保育所、雲南市立大東保育園、雲南市立かもめ保育園、みなみかも保育園	
	大田市	大田市立大田保育園、こばと保育園	

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	江津市	めぐみ保育所、のぞみ保育所	1年春学期・保育実習IA(保育所) 2年秋学期・保育実習II(保育所)
	浜田市	みのり保育園、三隅保育所	
	益田市	まるとに保育所	
	隠岐の島町	隠岐共生学園第二保育所、隠岐の島町立ごか保育園	
	米子市	福生保育園、加茂保育園、河崎保育園、米子市小鳩保育園、仁慈保育園	
	大山町	大山町立名和さくらの丘保育園	
	境港市	栴檀保育園	
	広島県呉市	明和保育園	
	広島県三次市	愛光保育所	
	兵庫県神戸市	幼保連携型認定こども園花の森	
和歌山県田辺市	田辺市立みどり保育所		
福井県越前市	越前市なかよし保育園		
児童福祉施設等	※新型コロナウイルスの影響から実習を中止し、その代替として学内演習を行う。その中で以下の施設から職員の方を招き講演を開催する。		
	松江市	松江赤十字乳児院、松江学園、島根県立わかたけ学園、しのめ寮、松江医療センター、児童発達支援センターやましろ、島根東光学園	2年春学期・保育実習IB(施設)
	出雲市	児童心理療育センターみらい	
	安来市	櫻苑、安来学園	
松江市	松江市立幼保園のぎ、松江市立古志原幼稚園、松江市立母衣幼稚園、松江市立城北幼稚園、松江市立城西幼保園、松江市立川津幼稚園、松江市立古江幼稚園、松江市立大庭幼稚園、松江市立持田幼稚園、松江市立出雲郷幼稚園、松江市立やくも幼稚園、松江市立揖屋幼稚園、松江市立意東幼稚園、松江市立佐太幼稚園、育英幼稚園、松江暁の星幼稚園		
幼稚園	安来市	安来市立安来幼稚園	2年春学期・教育実習
	出雲市	出雲市立湖陵幼稚園、出雲市立平田幼稚園	
	雲南市	雲南市立認定こども園西こども園、雲南市立加茂こども園、雲南市立寺領幼稚園	
	大田市	大田市立大田幼稚園	
	江津市	あさりこども園	
	浜田市	浜田市立石見幼稚園	
	米子市	米子幼稚園、キッズタウンかみごとう	
境港市	聖心幼稚園、美哉幼稚園		

地域文化学科

区分	所在	施設・機関名	備考
中学校・高等学校	松江市	学校法人大多和学園開星中学校・高等学校	授業観察実習

令和2年度

授業における連携(ゲストスピーカー、非常勤講師、見学先等)

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、地域と連携する多くの授業が不開講となりました。本表は、令和2年度に実施できた授業のみ掲載しています。

学科	授業名	授業担当者名	連携機関、見学先等
全学	しまね文化論	工藤泰子教授	出雲大社/万九千神社/島根県立古代出雲歴史博物館/島根県立三瓶自然館/石見銀山資料館/鹿島歴史民俗資料館/隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会/株式会社田部/中村茶舗/合資会社一文字家/一般社団法人鉄の歴史村地域文化研究所
	表現研究(児童文化)II	福井一尊准教授/矢島毅昌准教授/梶間奈准教授	しまね文化振興財団
保育教育	言葉研究(読み聞かせ実践)	中井悠加講師	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校
	キャリアプランニング	保育教育学科教員	株式会社エブリプラン/島根大学附属義務教育学校/島根県立松江養護学校乃木校舎/児童療育心理センターみらい/島根県福祉人材センター

学科	授業名	授業担当者名	連携機関、見学先等	
保育教育	社会的養護I	藤原映久准教授	しまねCAP	
	肢体不自由児指導論	西村健一准教授	リコージャパン株式会社 松江事業所/社会福祉法人みずうみ/島根県教育委員会特別支援教育課	
	知的障害児教育演習	西村健一准教授	NHK松江放送局/松江市立忌部小学校	
	視覚障害児教育総論	内山仁志准教授	島根県立盲学校	
地域文化	キャリアデザインI	岩田英作教授	島根県商工労働部/島根県中小企業家同友会	
	インターンシップ	岩田英作教授	ジョブカフェしまね	
	地域文化論I(小泉八雲)	小泉凡本学名誉教授	小泉八雲記念館	
	地域文化論II(出雲)	工藤泰子教授/杉岳志准教授/山村桃子准教授/中野洋平講師/キッド・ダスティン准教授(総合文化学科)	万九千神社	
	しまね文学探訪	岩田英作教授	小泉八雲記念館/斎藤茂吉鴨山記念館(美郷町)/森鷗外記念館(津和野町)	
	しまねのまちづくり	藤居由香准教授	美郷町山くじらブランド推進課/安来市建築住宅課/公益社団法人消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	
	読み聞かせの実践	岩田裕子非常勤講師/尾崎智子司書/内田絢子司書	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校	
地域文化/総合文化	Kids' English	ラング・クリス准教授	松江市立乃木小学校	
地域文化	観光まちづくり演習	竹田茉莉講師	一般社団法人木綿街道振興会	
	古典文学I(神話と伝説)	山村桃子准教授	島根県古代文化センター	
	地域文化プロジェクトI(地域居住環境学ゼミ)	藤居由香准教授	石州瓦工業組合	
	地域文化プロジェクトI(日本史ゼミ)	杉岳志准教授	清水寺/島根県立古代出雲歴史博物館	
	地域文化プロジェクトI(国語教育学ゼミ)	古賀洋一准教授	学校法人大多和学園開星中学校・高等学校/松江市立湖南中学校	
	地域文化プロジェクトI(古典文学ゼミ)	山村桃子准教授	島根県立八雲立つ風土記の丘/島根県立古代出雲歴史博物館	
	地域文化プロジェクトI(民俗学ゼミ)	中野洋平講師	海士町教育委員会	
	多文化共生論	増原善之准教授/塩谷もも准教授	島根県JICAデスク/エスペランサ/松江西高等学校/しまね国際センター/イズモ・アグロブラジル/ヒューマンサポートジャパン/日本語交流クラブGOTO☆ワンハート/出雲市役所/島根モスク・イスラーム文化センター	
	保育/総合文化	キャリア・プランニング	保育学科教員/総合文化学科教員	松江市役所/東京靴株式会社/モルツウェル株式会社/島根トヨタグループ/株式会社イーウェル/しまね女性センター/株式会社島根人材育成/株式会社DISCO/ジョブカフェしまね/島根県中小企業家同友会/ハローワーク(順不同)
	保育	卒業研究	梶谷朱美教授	松江市立幼保園のぎ/乃木公民館
保育教職実践演習		渡部一弘教授/梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師	出雲市立平田幼稚園/雲南市立斐伊保育所	
総合文化	インターンシップ	総合文化学科教員	ジョブカフェしまね	
	文学と文化III(日本古典文学)	山村桃子准教授(地域文化学科)	国立大学法人島根大学	
	へるん探求	松浦雄二教授(地域文化学科)/小泉凡本学名誉教授	出雲大社	
	文化とガイド	キッド・ダスティン准教授	松江城/玉造温泉/大社町神門通り/京店商店街	
	日本語表現演習	総合文化学科教員	松江歴史館	
	総合文化研修計画I/総合文化研修I	総合文化学科教員	松江歴史館/白濁天満宮/松江市観光協会	

地域志向研究活動一覧 (平成28～令和2年度)

学科名	vol.9掲載頁	研究年度	研究タイトル 研究助成等	研究助成等	学内研究者名(役職名は該当最終年度現在) 連携研究者(機関・協力者等)
保育教育学科		R2~	テレプレゼンスロボットによる特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学×益田市プロジェクト～ 北東アジア地域学術交流研究助成金		西村健一准教授 益田市教育委員会/NTTドコモ/RICOH/読書工房
		R1	ICTを活用した特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学×隠岐(OKI)の島プロジェクト～ 北東アジア地域学術交流研究助成金		西村健一准教授 隠岐の島町教育委員会/沖ワークウェル
		H30~	柔道の道場に在籍する「特別な配慮を要する児童生徒(発達障害等を含む)」の実態と支援に関する調査 教員個人研究費		西村健一准教授
		H30	海外における障害者(児)の柔道支援の実態について ～国際交流の現場における調査～ 学術教育研究特別助成金研究		西村健一准教授
		7	R1~ 児童養護施設を対象とした継続的な研修の実施 教員個人研究費		藤原映久准教授 島根県(浜田児童相談所)/児童養護施設 聖喙寮
		H30~R1	放課後等デイサービスを利用する子どもたちの状況とニーズに関する調査 教員個人研究費		藤原映久准教授 松江市内の放課後等デイサービス
		7	H29~ 里親向け養育支援研修会に関する実践研究 学術教育研究特別助成金(個人研究)教員個人研究費		藤原映久准教授 島根県(中央児童相談所)/松江地区里親会
		7	H27~ 児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実施 学術教育研究特別助成金研究(個人研究)教員個人研究費		藤原映久准教授 島根県(中央児童相談所)/児童養護施設安来学園
		H30	図画工作科における身体性の可視化がもたらす教育効果の研究 学術教育研究特別助成金(個人研究)		福井一尊准教授 岡山県
		H30	地域資源の探究・保存・継承を通じた初等教育の理論と実践に関する研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)		矢島毅昌准教授/福井一尊准教授/キッドダスティン講師
		R2~	「小学校1年生の文字を読む力を育むための取組 ～読字困難児の発見とアセスメントに応じた音読指導～」 「デジタル教材を活用した音読支援」 受託研究、NEAR財団寄附金、教員個人研究費		内山仁志准教授 益田市教育委員会
地域文化学		R1~	山陰の畝に関する研究 教員個人研究費		塩谷もも准教授
		R1~	島根半島における当屋交代儀礼(ヨメノイ神事)の研究 教員個人研究費		中野洋平講師 公益財団法人いづも財団
		R1~	松江市島根町における伝承地名に関する研究 受託研究		中野洋平講師 島根地域まちづくり協議会
		11	R1~ 海士町における民具の保存と利活用に関する研究 しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金		中野洋平講師 海士町教育委員会
		H30~	出雲神楽の研究 島根県古代文化センターテーマ研究		中野洋平講師 島根県古代文化センター
		H30	隠岐における社家神楽の再検討 学術教育研究特別助成金(個人研究)		中野洋平講師
		H30	加賀旧潜戸における賽の河原霊場形成に関する研究 教員個人研究費		中野洋平講師
		H30	民俗学による地域理解と地域志向教育 教員個人研究費		中野洋平講師
		R1	松江市学校図書館政策の形成過程 学長裁量経費(若手支援枠)		石井大輔准教授/木内公一郎講師
		H30	鳥取県学校司書配置政策に関する研究 教員個人研究費		木内公一郎講師

地域文化学科	H30	観光まちづくりの担い手組織のあり方に関する研究 教員個人研究費	竹田茉莉講師
	H28 ~R1	戦後松江における観光行政の展開 科学研究費補助金・基盤研究C	工藤泰子教授 松江市史料編纂室
	H26 ~	島根県の歴史的町並み景観と住宅の維持保全に関する研究 教員個人研究費	藤居由香准教授
	H27 ~	島根県における伝説の研究 教員個人研究費	山村桃子准教授
	10 H25 ~	『出雲国風土記』研究 学術教育研究特別助成金研究	山村桃子准教授
	10 H24 ~	『古事記』作品研究 教員個人研究費	山村桃子准教授

保育学科	H30 ~	中学校保健体育教員を対象にしたダンス指導の研修プログラム開発 ~教材理解の促進に焦点をあてて~ スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根大学教授 廣兼志保/島根県教育庁保健体育課指導主事 吾郷修治
	R1~	幼稚園と小学校との円滑な接続のあり方に関する研究 教員個人研究費	梶谷朱美教授 雲南市立寺領幼稚園
	H30 ~	運動遊びにおけるプレーリーダーとしての保育者の役割についての研究 ~雲南市立幼稚園・保育所(園)・認定こども園の実践を中心として~ 学術教育研究特別助成金(個人研究)	梶谷朱美教授 雲南市教育委員会/雲南市子ども政策局/雲南市身体教育医学研究所うんなん/雲南市内18幼稚園・保育所(園)・認定こども園/雲南市子ども政策局子ども政策課 藤原洋子/雲南市身体教育医学研究所うんなん 西川喜久子/のぞみ保育設計研究所長 野津道代
	R2~	保育者の資質向上のための研修プログラムの開発 ~学生と保育者のための運動遊びハンドブックの事例を活用して~ 学術教育研究特別助成金(個人研究)	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/中井悠加講師/小山優子准教授(保育教育学科)
	H30 ~	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築 学術教育研究特別助成金(共同研究)	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師/小山優子准教授(保育教育学科)
	R1~	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師
	R2~	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築	梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師
	6 H29	島根県における障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究 学術教育研究特別助成金(個人研究)	福井一尊准教授 島根県/島根県社会福祉協議会
	H29	初等図画工作科と生活科の複合的観点から捉えた地域資源についての研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)	福井一尊准教授/矢島毅昌准教授
	H29	島根県内保育所における看護師設置状況と放課後等デイサービスによる医療的ケアの課題と展望 学術教育研究特別助成金(個人研究)	前林英貴講師 島根県健康福祉部子ども・子育て支援課保育支援グループ/障がい福祉課療育支援グループ
	H28~ H29	保小中地域連携による「ふるさと基盤教育」の実証研究 益田市・島根県立大学共同研究事業	山下由紀恵教授/鹿野一厚教授/矢島毅昌准教授/福井一尊准教授 益田市教育委員会/益田市保育研究会
	H28~ H29	保育・発達支援における「うた遊び手帳」導入研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)	山下由紀恵教授/梶間奈保講師/矢島毅昌准教授 松江市立揖屋幼稚園長 泰昌子/松江市立城東保育所長 福頼美恵子
	H27~ H29	川本町におけるインクルーシブ相談支援ファイル開発プロジェクト 北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)研究	山下由紀恵教授 川本町教育委員会(川本町立川本小学校・川本町特別支援連携協議会)/社会福祉法人川本福祉会(川本保育所・因原保育所・川本北保育所)
	H27~ H28	保小中連携によるwebシーズマップを活用した「ふるさと教育」の開発 益田市・島根県立大学共同研究事業 北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)研究	山下由紀恵教授/鹿野一厚教授/矢島毅昌講師/福井一尊准教授 益田市教育委員会/益田市保育研究会
H27~ H28	音への興味関心を育む研究-「音の絵本」をととして 学術教育研究特別助成金研究/教員個人研究費	梶間奈保講師	
H26~ H28	地域の自然と児童文化財を活用した保育者養成プログラムの原理と方法に関する研究 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	矢島毅昌講師	

総合文化学科	H28	フォニックス教材開発及び作成 学術教育研究特別助成金(共同研究)	ラング クリス准教授/キッド ダスティン講師/小玉容子教授
	H28	父親による読み聞かせの実態 学術教育研究特別助成金(共同研究)	岩田英作教授/マユーあき教授/尾崎智子司書/内田絢子司書 本学非常勤講師 岡本千佳子
	H28	島根の民話の保存と整理-ふるさと郷育(教育)への活用に向けて- COCしまね地域共育・共創研究助成金研究	岩田英作教授 島根大学名誉教授 田中壘一
	H28	志賀直哉『濠端の住まい』に見る(自然)-松江がもたらしたもの 教員個人研究費	岩田英作教授
	H28	芥川龍之介の松江体験-失恋と『羅生門』誕生のあいだで- 教員個人研究費	岩田英作教授
	H29	『出雲国風土記』の英訳研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)(H29)	松浦雄二教授/ラング クリス准教授/山村桃子講師/キッド ダスティン講師 島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙
	H26~ H28	『出雲国風土記』の英訳研究 COCしまね地域共育・共創研究助成金研究(H26~H28)	松浦雄二教授/ラング クリス准教授/山村桃子講師/キッド ダスティン講師 島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙

地域連携(貢献)活動の取組状況 2021年2月時点

1 講演会講師等(研修指導含む)

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
1	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県(教育指導課)	江津市立高角小学校校内研修会講師 「新しい学習指導要領における生活科の授業づくり」	令和2年8月4日
2	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	令和2年度小学校生活科教育講座講師 「新学習指導要領と気付きの質を見取る評価の在り方」	令和2年9月25日
3	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	海士町教育委員会	海士町内小学校における算数科の授業参観と指導助言	令和2年10月26日
4	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	出雲市立四路小学校	教職員を対象とした校内研修会講師 「思いや考えをもってかかわり、豊かに表現する子どもの育成」	令和2年10月29日
5	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	江津市教育委員会	江津市立高角小学校校内研修会講師 「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」	令和2年11月24日
6	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	益田市教育委員会	令和2年度保幼小連絡協議会研修会講師 「保幼小連携の意義について」	令和3年2月18日
7	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	松江市立大谷小学校	大谷小学校教職員を対象にした算数科授業研修会講師 「新学習指導要領に基づく算数の授業づくり」	令和2年6月16日/10月12日
8	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	島根県(教育指導課)	益田市立高津小学校校内研修会講師 「新教育課程に基づくこれからの算数の授業づくりの在り方」	令和2年7月13日/10月22日/ 11月9日/12月3日
9	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	出雲市教育委員会	出雲市内教職員を対象とした令和2年度第6回出雲市学力向上研修講座講師 「新学習指導要領に基づく算数・数学の授業 ～数学的活動は算数・数学の授業をいかに変えるか～」	令和2年8月5日
10	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	島根県(教育指導課)	江津市立高角小学校校内研修会講師 「新学習指導要領に基づくこれからの算数の授業」	令和2年8月25日/ 令和3年1月29日
11	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	松江市立竹矢小学校	竹矢小学校教職員を対象にした算数科授業研修会講師 「新課程が期待する算数の授業づくりの在り方 ～3年「円」の指導を通して～」	令和2年9月14日/10月12日
12	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	海士町教育委員会	海士町内小学校における算数科の授業参観と指導助言及び町内教職員対象の講演会講師 「新学習指導要領が目指すこれからの授業づくり ～算数・数学の指導を通して」	令和2年10月26日
13	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市校長会 (大田市立大森小学校)	大田市校長会主催研修会講師 「数学的活動は算数・数学の授業をいかに変えるか」	令和2年11月19日
14	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	浜田市立国府小学校	国府小学校教職員を対象にした算数科授業研修会講師 「新学習指導要領に基づく算数の授業づくり ～教科目標の柱書の実現～」	令和3年2月8日
15	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市校長会 (大田市立久手小学校)	大田市校長会主催研修会講師(①大田市立川合小学校、②大田市立第三中学校) ①「新学習指導要領に基づく算数の授業づくり ～4年 式と計算を通して～」 ②「新学習指導要領に基づく数学の授業づくり ～文字式を通して～」	①令和3年2月12日 ②令和3年3月1日
16	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県立松江養護学校	校内研修会(カリキュラム・マネジメント研修会)講師 「特別支援学校(知的障害)におけるカリキュラム・マネジメント」	令和2年8月6日
17	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県特別支援学校教育研究会	令和2年度島根県特別支援学校教育研究会知的障害教育研究協議会及び第1回実践交流部会の講演会講師並びに研究協議会での指導助言 「自閉症のある児童生徒の学びを支える授業づくり ～「主体的・対話的で深い学び」の観点から～」	令和2年10月16日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
18	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ	早期支援体制づくり研修会講師 「幼児期の発達の気づきから支援に ～自閉症と場面緘黙を中心に～」	令和2年10月18日
19	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県立松江養護学校	事前相談及び中学生部研修会の講師 「場面緘黙傾向のある生徒の実態把握と支援」	令和2年10月29日
20	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県立出雲養護学校	教職員を対象とした研修会の指導・助言 「行動障害の理解と支援」	令和2年11月20日・27日/ 12月10日
21	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	松江市教育委員会	第5回幼保特別支援ミドルリーダー養成講座の講師 「幼児期の特別支援 ～自閉症と場面緘黙を中心に～」	令和2年12月8日
22	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	特別支援学級担任スキルアップ研修の講師 「子どもの理解とかかわり ～実態把握と支援方法～」	令和3年1月20日・22日 (松江・浜田)
23	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	AM:益田市内通級指導担当教員対象 研修会講師 「音読指導に関する個別指導の実例(研究提案含む)」 PM:益田市内小学校教員、特別支援教育支援員対象 研修会講師 「特異的発達障害の理解と指導・支援～脳科学の立場から～」	令和2年8月21日
24	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和2年度島根県子育て支援員研修(基本研修)会講師 「対人援助の価値と倫理」「子ども虐待(児童虐待)と社会的養護」「子どもの障害の基本的な理解」「総合演習(特別な支援を必要とする家庭(本人・家族)の考察と検討)」	令和2年8月23日
25	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	出雲子どもの読み書きを支える会	会員対象の研修会 「音読支援事業の紹介」を発表。また事例検討会にて専門的立場からの指導・助言。	令和2年10月3日
26	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	益田市内小学校教員、特別支援教育支援員対象 研修会講師 「子どもの状態に応じた様々な読み・書き支援 ～T式ひらがな音読支援の実例～」	令和2年10月6日
27	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	出雲子どもの読み書きを支える会	会員対象の研修会講師 「T式音読指導の理論的背景とその実際(特異的発達障害の理解と指導・支援 ～なぜRTIが重要なのか～)」	令和2年10月27日
28	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て支援センター)	子育て支援センター全職員対象の研修会講師 「子ども虐待(児童虐待)と社会的養護」	令和3年1月18日
29	梶間 奈保 (保育教育学科准教授)	松江市立やくも保育園	園内研究会(2歳児の音楽遊び)指導	令和2年9月3日
30	梶間 奈保 (保育教育学科准教授)	松江市立川津幼稚園	家族参加講師「親子で楽しむ音楽遊び」	令和2年11月15日
31	小山 優子 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和2年度保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】講師 「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育内容」「指導計画、記録及び評価」	令和2年8月19日・20日
32	小山 優子 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人たんぼぼ	法人職員(令和3年度加茂子ども園採用予定者)を対象として開催する「こども園要領と保育指針の理解を深める研修」講師	令和3年2月11日
33	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	児童生徒支援関係者対象 講師 「マングラートを使った事例検討」	令和2年8月17日
34	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て支援センター)	子育て中の保護者、子育て支援者を対象とした子育て学習会講師 「発達を促す関わり方」	令和2年9月7日
35	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	児童生徒支援関係者対象 講師 「支援方法の見つけ方」	令和2年9月16日
36	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県立松江養護学校	校内研修会(主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくり)における指導助言	令和2年9月29日/12月10日
37	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江市立忌部小学校	PTAを対象にした講演会講師 「共生社会を生きる」	令和2年10月14日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
38	西村 健一 (保育教育学科准教授)	日本保育協会島根県支部	キャリアアップ研修(障がい児保育)の講師 「保育士等キャリアアップ研修」	令和2年10月16日・19日
39	西村 健一 (保育教育学科准教授)	とよかわSE塾	児童生徒支援関係者対象 講師 「発達を促す関わり方」	令和2年10月17日
40	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て支援課)	松江市幼稚園・保育所・認定こども園職員対象とした研修会講師 「子どもの造形表現へのアプローチ」	令和2年9月2日
41	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て支援課)	令和2年度幼小連携・接続研究事業に係る研修会講師	令和3年2月22日
42	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県(青少年家庭課)	児童相談所、市町村を対象とした研修会講師 「子ども家庭相談援助制度及び実施体制」	令和2年8月4日/10月28日
43	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県(青少年家庭課)	児童福祉司任用前講習会・任用後研修(後期日程) 「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」	令和2年10月28日
44	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和2年度島根県子育て支援員研修(社会的養護コース)講師 「社会的養護の理解」「子ども等の権利擁護・職業倫理」「社会的養護を必要とする子どもの理解」	令和2年11月7日
45	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県西部発達障害者支援センターウィンド	保育士・幼稚園教諭向けの研修(巡回相談スタッフ含む) 「よりよい子ども支援・保護者支援を行うためのポイント～発達障がい(傾向を含む)をめぐって」	令和2年11月14日
46	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県社会福祉士会	里親制度普及啓発講演会 「子育ての悩みどころを考える～褒め方・叱り方から里親養育まで」	令和3年1月10日
47	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	児童自立支援施設 島根県立わかたけ学園	入所児童の権利擁護について改めて考える研修	令和3年1月20日・21日
48	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和2年度島根県子育て支援員研修(地域保育コース[共通科目])講師 「乳幼児の生活と遊び」「乳幼児の発達と心理」「乳幼児の食事と栄養」「小児保健I」「小児保健II」「地域保育の環境整備」「安全の確保とリスクマネジメント」「心肺蘇生法」	令和2年8月26日/ 9月2日・7日・10日/ 10月6日・21日
49	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て政策課)	令和2年度松江市子育て支援員研修講師 「小児保健I」「子どもの発達」「保育の原理」	令和2年11月16日・30日
50	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和2年度保育士等キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】講師 「保健計画の作成と活用」「事故防止および健康安全管理」「保育の場における事故防止および対応のためのガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育の場における血液を介した感染予防」	令和2年11月17日・18日・24日・25日
51	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和2年度保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】講師 「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育内容」「指導計画、記録及び評価」	令和2年7月2日・3日
52	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和2年度島根県子育て支援員研修(地域保育コース(地域型保育))講師 「地域型保育」	令和2年9月11日・29日
53	山田 洋平 (保育教育学科准教授)	島根県(青少年家庭課)	児童相談所、市町村を対象とした研修会講師 「子どもの成長・発達と生育環境」	令和2年8月4日
54	山田 洋平 (保育教育学科准教授)	江津市教育委員会	放課後児童クラブ職員の研修会講師 「子どもの行動特性について」	令和2年9月30日
55	牧瀬 翔麻 (保育教育学科助教)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和2年度島根県子育て支援員研修(基本研修、共通科目、一時預かり事業)講師	令和2年8月19日/ 9月5日・12日・25日
56	牧瀬 翔麻 (保育教育学科助教)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和2年度島根県子育て支援員研修(共通科目)講師	令和2年9月23日/ 10月13日・15日・19日
57	牧瀬 翔麻 (保育教育学科助教)	松江市(子育て支援センター)	子育て支援センター職員を対象とした研修講師 「保育者の職業倫理と配慮事項」	令和3年1月18日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
58	岩田 英作 (地域文化学科教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	保育士キャリアアップ研修【保育実践】 「読み聞かせ&わらべうたの実践」	令和2年8月27日
59	松浦 雄二 (地域文化学科教授)	松江市立中央図書館	定期講座「小泉八雲に学び・親しむ」講師 ～「職人」ハーンの言語～	令和3年3月20日
60	杉 岳志 (地域文化学科教授)	島根県立古代出雲歴史博物館	企画展「大地に生きる ～しまねの災(さい)と幸(さち)」関連講座 「近世出雲・石見の人々と天変」	令和2年8月30日収録/ 9月1日～6日オンライン公開
61	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育センター	第II回新規採用幼稚園教諭研修保育技術(運動遊び)講師 「子どもの心身の発達と運動遊び」	令和2年8月21日
62	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市立認定こども園 大東こども園	雲南市内幼稚園・保育所・こども園合同研修Cブロック研修会(職員対象)講師 「3歳児保育研究 ばくも・わたしも がんばりまん!」	令和2年9月30日
63	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	令和2年度専門家・専門医指導事業 児童、保護者、教職員を対象とした健康教室講師 「メディアコントロールで心も体もすくすくと」	令和2年10月21日
64	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市	雲南市内の保育施設職員を対象とした研修会講師 「遊びの本質と保育者の役割」	令和2年11月5日
65	梶谷 朱美 (保育学科教授)	松江市教育研究会小学校体育部会	松江市教育研究会小学校体育部会研修会講師 松江市内の体育を担当する教員対象に「だれでもできる表現運動」をテーマに講義・実技	令和2年11月27日
66	梶谷 朱美 (保育学科教授)	出雲市立第三中学校	出雲市教育研究会保健体育部会公開授業・授業研究会における指導助言	令和2年12月3日
67	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	島根県学校体育研究連合会ダンス研修部会第2回理事会における講師 「コロナ禍における市町のダンス研修会の実施について」	令和3年2月4日
68	小林 美沙子 (保育学科講師)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和2年度保育士就職支援セミナー 「保育に関する近年の流れと保育現場・保育が楽しくなる記録の書き方ポイント」	令和2年11月27日

2 教育機関との連携(高大連携・中・小・幼・保)

No.	教員名	連携先	内容等	日付(期間)
1	高橋 泰道(保育教育学科教授)	国立大学法人 島根大学	嘱託講師 集中講義 「中等理科教育法特講Ⅲ」	令和3年2月14日～16日
2	高橋 純(地域文化学科教授) 内山 仁志(保育教育学科准教授)	松江市立女子高等学校	大学の先生による出張講義 「言語を実験してみよう」(高橋)、「脳科学と教育」(内山)	令和2年7月28日
3	岩田 英作(地域文化学科教授)	島根県立松江南高等学校	第1回 松江南高校魅力化コンソーシアム	令和2年7月28日
4	宮下 裕一(保育学科教授) 矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 藤居 由香(地域文化学科准教授) 竹田 茉耶(地域文化学科講師) 牧瀬 翔麻(保育教育学科助教)	島根県立松江南高等学校	第2学年普通科アカデミック研修	令和2年10月8日
5	学生図書委員会6名、図書館司書3名、おはなしレストランライブラリー司書1名	島根県立松江商業高等学校	図書館を介した交流事業(学生図書委員会企画)署名しりとりにゲーム、好きな本の紹介、図書館案内、おはなしレストランライブラリー案内	令和2年11月17日
6	増原 善之(地域文化学科准教授)	島根県立平田高等学校	地域協働学習(多文化共生社会の推進)でのオンライン講義	令和2年9月10日
7	岩田 英作(地域文化学科教授)	島根県立平田高等学校	「平田高校 地域協働フォーラム 2020・秋」における2年生による地域協働学習成果発表に参加	令和2年11月17日

No.	教員名	連携先	内容等	日付(期間)
8	増原 善之(地域文化学科准教授)	島根県立出雲高等学校	2年生課題研究指導	令和2年10月15日/ 令和3年1月28日
9	梶谷 朱美(保育学科教授)	島根県立出雲高等学校	PDGzセミナー講師(1年生)【前期】	令和2年11月12日/ 12月10日
10	山根 繁樹(総合文化学科教授)	島根県立出雲高等学校	PDGzセミナー講師(1年生)【後期】	令和3年3月10日
11	工藤 泰子(地域文化学科教授) 梶間 奈保(保育教育学科准教授) 杉 岳志(地域文化学科准教授) 山村 桃子(地域文化学科准教授)	島根県立大社高等学校	大社高校2年生の探求学習成果についての「オンライン 発表会 with島根県立大学」における指導・助言 (3キャンパス合同参加。学生も参加。)	令和2年11月18日
12	小林 美沙子(保育学科講師)	島根県立大田高等学校	1・2年生を対象とした進路ガイダンスの講師	令和2年11月11日
13	木内 公一郎(地域文化学科准教授) キッド ダスティン(総合文化学科准教授) 菊野 雄一郎(保育学科講師)	島根県立横田高等学校	2年生進学コースの「総合的な探求の時間」における地 域課題研究 中間発表についての指導・助言	令和2年10月28日
14	岩田 英作(地域文化学科教授) 山根 繁樹(総合文化学科教授) キッド ダスティン(総合文化学科准教授) 菊野 雄一郎(保育学科講師)	島根県立横田高等学校	2年生地域課題研究 中間発表についての助言等	令和3年2月3日
15	古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科講師)	学校法人大多和学園 開星高等学校	課題研究Iテーマ発表会参加および指導	令和2年9月10日
16	梶谷 朱美(保育学科教授) 西村 健一(保育教育学科准教授) 前林 英貴(保育教育学科准教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授) 塩谷 もも(地域文化学科准教授) 渡邊 寛智(保育学科講師) 山村 仁朗(総合文化学科講師) 牧瀬 翔麻(保育教育学科助教)	学校法人大多和学園 開星高等学校	課題研究I・IIにおける生徒の研究室訪問および指導	令和2年9月24日
17	古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星高等学校	校内研究授業における指導助言	令和2年10月20日
18	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科講師)	学校法人大多和学園 開星高等学校	探求型授業校内発表会における助言・指導	令和2年12月10日
19	古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科講師)	学校法人大多和学園 開星高等学校	課題研究I文理合同中間発表会における助言・指導	令和3年3月11日
20	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星高等学校	探求型授業校内発表会(高1・2、中学)における助言・指 導	令和3年3月18日
21	ラング クリス(地域文化学科准教授) キッド ダスティン(総合文化学科准教授)	学校法人水谷学園 出雲北陵高等学校	英語レシテーションコンテスト審査員長、審査員	令和2年11月3日
22	福井 一尊(保育教育学科准教授)	邑南町立口羽小学校	図画工作科 特別授業(全学年合同)	令和2年10月15日
23	福井 一尊(保育教育学科准教授)	松江市立来待小学校	図画工作科 特別授業(5・6年生合同)	令和2年11月25日
24	岸本 強(保育教育学科教授)	横田保育所	園内研修会講師	令和2年9月30日/ 10月23日
25	梶谷 朱美(保育学科教授)	雲南市立認定こども園 木次こども園	「木次こども園 おやこ元気BOOK」の著書	令和3年2月発行
26	キッド ダスティン(総合文化学科准教授)	神門第II保育園	保育園行事(クリスマス会)のサンタクロース役	令和2年12月18日
27	キッド ダスティン(総合文化学科准教授)	認定こども園玉湯さくら園	クリスマス会のサンタクロース役	令和2年12月21日

No.	教員名	連携先	内容等	日付(期間)
28	キッド ダスティン(総合文化学科准教授)	松江市立講武幼稚園	クリスマス会のサンタクロース役	令和2年12月24日
29	キッド ダスティン(総合文化学科准教授)	社会福祉法人 ねむの木福祉会 (にじいろ保育園)	クリスマス会のサンタクロース役	令和2年12月25日

3 その他の地域連携(貢献)活動

No.	教員名	相手方	内容等	日付(期間)
1	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県(教育指導課)	島根県幼児教育推進シンポジウム 実践発表コメントーター	令和3年1月23日
2	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県(浜田教育センター)	令和2年度島根県教育センター浜田教育センター研究・研修ス タッフ共同研究のリーフレットについての指導・助言	令和3年3月5日
3	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	株式会社エブリプラン	地元企業主催の勉強会講師 「特別支援教育におけるテクノロジー活用の可能性について」	令和2年9月10日
4	梶間 奈保 (保育教育学科准教授)	「こころ音」雅楽会	雅楽鑑賞会	令和2年11月9日
5	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	雲南市教育委員会	「家でも学校でもない第三の居場所b&gうんなん」 運営に関する助言、運営支援会議への出席	令和2年11月19日
6	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県中央児童相談所 児童養護施設安来学園	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携 ・児童養護施設安来学園及び島根県中央児童相談所との 協働の下、児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開 発と実践を行う。	平成27年4月～必要な期間
7	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県中央児童相談所 松江地区里親会	・里親支援における連携 松江地区里親会及び島根県中央児童相談所との協働の 下、子育て支援の勉強会と里親支援学生企画交流会を開催 し、里親支援を展開する。	平成29年4月～必要な期間
8	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県浜田児童相談所 児童養護施設聖徳聖堂	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携 ・児童養護施設聖徳聖堂園及び島根県浜田児童相談所との 協働の下、児童養護施設職員向けの継続的な研修を実施す る。	令和元年4月～必要な期間
9	杉 岳志 (地域文化学科准教授)	島根県立古代出雲歴史博物館	収蔵史料の目録作成	令和2年10月～
10	宮下 裕一 (保育学科教授)	しまねトランポリンクラブ	学生サークル「みんなのいえ」による、「しまねトランポリンク ラブ」のお楽しみ企画・実施	令和2年12月12日
11	キッド ダスティン (総合文化学科准教授)	一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局	中海・宍道湖圏域多言語解説協議会の非常勤・内容監修者	令和2年6月～令和3年3月
12	キッド ダスティン (総合文化学科准教授)	株式会社ひろせプロダクト	エコプロ2020オンライン展示会出展に伴う会社紹介ムー ビーの英語スピーチ及び出演	令和2年11月2日/12月10日
13	キッド ダスティン (総合文化学科准教授)	山陰ケーブルビジョン株式会 社	正月特別番組「激辛!!地方創生委員会NL」出演	令和2年12月9日
14	キッド ダスティン (総合文化学科准教授)	松江市	松江城に関する解説書の英訳	令和3年3月～令和3年8月
15	キッド ダスティン (総合文化学科准教授)	奥出雲町農業遺産推進協議会	世界農業遺産認定申請書、保全計画書の翻訳業務、現地調 査時の通訳	令和3年4月～令和4年3月

4 審議会委員等(審査員・アドバイザー含む)

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
1	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県	島根県県民栄誉賞選考委員会委員	令和2年11月
2	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県	島根県県スポーツ奨励賞選考委員会委員	令和2年12月
3	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県	島根県スポーツ推進審議会会長	令和元年6月～令和3年6月
4	岸本 強 (保育教育学科教授)	公益財団法人島根県体育協会	しまね広域スポーツセンター企画運営委員会委員長	令和2年1月～令和3年3月
5	岸本 強 (保育教育学科教授)	島根県	文部科学省及び島根県が実施する表彰に推薦する候補者の選考委員	令和2年6月/令和2年12月～令和3年3月3月
6	岸本 強 (保育教育学科教授)	大田市	大田市学校のあり方に関する実施計画検討委員会委員長	令和2年7月～令和3年3月
7	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	松江市	松江市専門巡回相談員	令和2年6月～令和3年3月
8	小山 優子 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県子ども・子育て支援推進会議委員	令和2年4月～令和4年3月
9	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市社会福祉審議会委員	令和2年4月～令和4年3月
10	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市公の施設指定管理者選定審議会委員	令和2年6月～令和4年5月
11	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市保育所等施設整備審査委員	令和2年10月～令和4年9月
12	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県教育支援委員会委員	令和2年4月～令和4年3月
13	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市ミニ療育活動事業検討委員	令和2年4月～令和3年2月
14	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県立松江緑が丘養護学校学校評議員	令和2年4月～令和3年2月
15	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県	障がい者スポーツ活動支援助成金審査委員	令和2年4月～令和3年3月
16	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江市	公認心理士・臨床発達心理士スーパーバイザー	令和2年4月～令和3年3月
17	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会顧問	平成22年10月～現在に至る
18	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県障がい者アート作品展審査委員会委員長	平成23年10月～現在に至る
19	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市保育研究会造形表現部会顧問	平成29年4月～現在に至る
20	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県景観審議会委員	平成30年4月～現在に至る
21	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県障がい者文化芸術活動推進連絡協議会会長	平成元年4月～現在に至る
22	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	益田市	益田市子ども・子育て会議委員	令和2年4月～令和4年3月
23	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県児童養護施設協議会	児童文化奨励絵画展県内審査員	平成28年8月～現在に至る

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
24	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県障がい者文化芸術活動支援センター	障がい者の芸術文化活動支援に関する検討を行う協議会の非常勤委員	令和2年12月～令和3年3月
25	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	島根県社会福祉協議会評議員	平成29年4月～令和3年6月
26	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 つわぶき	評議員選任・解任委員	平成29年1月～令和5年3月
27	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	松江市	要保護児童対策協議会スーパーバイザー	令和2年4月～令和3年3月
28	岩田 英作 (地域文化化学科教授)	松江市	松江市総合計画・総合戦略推進会議委員	令和2年6月～令和4年5月
29	岩田 英作 (地域文化化学科教授)	島根県	島根県子ども読書活動推進会議委員	令和2年6月～令和4年6月
30	岩田 英作 (地域文化化学科教授)	島根県立松江南高等学校	松江南高校魅力化コンソーシアム委員	令和2年7月～令和3年3月
31	工藤 泰子 (地域文化化学科教授)	松江市	松江歴史館運営協議会委員	令和2年12月～令和4年11月
32	工藤 泰子 (地域文化化学科教授)	松江ツーリズム研究会	松江ツーリズム研究会観光大賞選考委員	令和2年8月
33	工藤 泰子 (地域文化化学科教授)	島根県立松江商業高等学校	学校評議員	令和2年5月～令和3年3月
34	工藤 泰子 (地域文化化学科教授)	雲南市	雲南市観光振興計画検討会委員	令和2年7月～令和3年3月
35	田中 芳文 (地域文化化学科教授)	島根県立松江南高等学校	学校評議員	令和2年5月～令和3年3月
36	マユー あき (地域文化化学科教授)	島根県	島根県個人情報保護審査会委員	令和2年4月～令和4年4月
37	マユー あき (地域文化化学科教授)	公益財団法人島根県育英会	公益財団法人島根県育英会理事	令和元年6月～令和3年6月
38	マユー あき (地域文化化学科教授)	国立大学法人 島根大学	島根大学人間科学部における人を対象とする研究倫理審査委員会委員	令和2年4月～令和4年6月
39	マユー あき (地域文化化学科教授)	島根県立三刀屋高等学校	学校評議員	令和2年5月～令和3年3月
40	マユー あき (地域文化化学科教授)	島根県	島根県情報公開審査会委員	令和2年10月～令和4年10月
41	木内 公一郎 (地域文化化学科准教授)	島根県	島根県立図書館協議会審議委員	令和2年5月～令和4年5月
42	木内 公一郎 (地域文化化学科准教授)	松江市	松江市立図書館協議会委員	令和2年11月～令和4年10月
43	塩谷 もも (地域文化化学科准教授)	松江市	松江市行財政改革推進委員	令和2年6月～令和4年5月
44	塩谷 もも (地域文化化学科准教授)	松江市	松江市多文化共生推進プラン検討委員会委員	令和2年11月～令和3年3月
45	藤居 由香 (地域文化化学科准教授)	松江市	松江市都市計画審議会会長	令和2年4月～令和3年3月
46	藤居 由香 (地域文化化学科准教授)	松江市	松江市歴史まちづくり推進協議会委員	令和2年4月～令和3年3月
47	藤居 由香 (地域文化化学科准教授)	島根県	しまね景観賞審査委員会委員	令和2年4月～令和3年3月

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
48	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	雲南市	雲南市立地適正化計画策定業務に係る公募型プロポーザル選定委員	令和2年6月
49	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県消費生活審議会委員	令和2年7月～令和4年7月
50	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県建設工事紛争審査会委員	令和3年1月～令和5年1月
51	増原 善之 (地域文化学科准教授)	島根県立出雲高等学校	島根県立出雲高等学校課題研究指導員	令和2年9月～令和3年3月
52	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	松江市	松江市個人情報保護審議会委員	令和元年9月～令和3年8月
53	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県教育庁古代文化センター企画運営委員会委員	令和2年8月～令和4年7月
54	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	島根県	出雲国風土記校訂・注釈本作成指導委員会委員	令和2年9月～令和3年3月
55	中野 洋平 (地域文化学科講師)	まつえ市民大学運営協議会	まつえ市民大学運営協議会委員	令和2年10月～令和3年6月
56	宮下 裕一 (保育学科教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	しまね保育士確保・定着推進会議委員	令和2年11月～令和4年3月
57	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市	身体教育医学研究所うんなん運営委員会委員	令和2年4月～令和4年3月
58	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	結集!しまねの子育て協働プロジェクト推進委員会委員	令和2年5月～令和4年5月
59	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県立松江農林高等学校	松江農林高等学校魅力化コンソーシアム役員	令和2年4月～令和3年3月
60	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	島根県学校ダンス研修部アドバイザー	令和3年2月
61	キッド ダスティン (総合文化学科准教授)	島根県出雲県土整備事務所	「しまねインフラツーリズム in IZUMO」ガイドブック戦略会議アドバイザー	令和2年7月～令和3年3月